

ハートケア通信

2025年5月号

発行：2025年5月1日 No. 260
ハートケアグループ
〒583-0021 大阪府藤井寺市御舟町1-63
藤井寺オフィスビル
編集：ハートケア通信編集委員
TEL 072-931-2355
FAX 072-931-2730



再び
カシが
やってきた!



今の特集
いざという時、大切な命を守るために

ハートケアグループ

快適をご利用者に 安心をご家族に since1988

- (株) ハートケアホールディングス
- (株) 大阪ホームケアサービス
- (株) メディケア・リハビリ
- (株) 青蓮荘
- (株) マイオセラピー研究所
- NPO法人 ケア・ユニゾン



ハートケアグループ
ホームページ

<https://www.medi-care.co.jp>

- ◆ 介護保険ご利用者総数：4940名 (2025年4月1日現在)
【ケアプラン契約数】719名 【訪問介護事業】445名
【通所介護事業】1422名 【訪問看護事業】1888名
【福祉用具レンタル事業】466名
- ◆ 介護保険外ご利用者総数：1493名
【訪問看護事業(医療)】1043名
【訪問介護事業(障害者総合支援)】28名
【個人契約ヘルパー】4名 【有料老人ホーム】418名
- ◆ 住宅改修・福祉用具購入(介護保険内外含む)：8件
- ◆ 障がい児通所支援事業：500名
※上記の数は複数のサービスを利用される方の重複を含みます
- ◇ ハートケアグループ 職員数：907名
ご利用者虐待防止相談窓口 TEL：072-931-7735 担当：井口



Rehavel 旅通信⑩

「大阪関西万博」



今回は、いよいよ開幕する大阪関西万博についてのお知らせです。Rehavel(リハベル)にもたくさんのお問い合わせを頂いており、すでに何組かは大阪関西万博への日帰り旅行が決定しています。個別のお問い合わせに対して細かく要望を聞き取り、チケットの手配、パビリオンの予約、会場内のレストラン予約などを実施しています。

ツアーのモデル例をご紹介します。

大阪市内(平野)の自宅から万博日帰りツアー

普通タクシーに乗車できる方で、会場内は車椅子介助が必要な方(お1人の場合)

- 10:00 自宅 出発(普通タクシー予約)
- 11:00 万博会場 到着
- 17:00 万博会場 出発
(タクシー乗り場から乗車 旅行料金に含まず)
- 18:00 自宅 到着

【概算費用】

- ・往路タクシー代 7,000円
- ・万博入場チケット2枚 12,000円
(ご本人介助者分)
- ・介護士介助料金(8時間) 33,000円
- ・諸経費 手数料 6,000円

ツアー料金 合計 58,000円

※復路タクシーは手配不可のため、タクシー乗り場から乗車。ツアー料金とは別に約7,000円必要。昼食はツアー料金に含まない。

京都府八幡市の施設から万博日帰りツアー

要介護5 リクライニング車椅子をご利用の方(介護タクシー利用 看護師、介護士2名同行の場合)

- 10:00 八幡市の施設 出発
- 11:30 万博会場 到着
- 16:30 万博会場 出発
- 18:00 八幡市の施設 到着

【概算費用】

- ・介護タクシー料金往復 97,000円
(高速代金、看護師付き添い料金を含む)
- ・万博入場チケット3枚 18,000円
(ご本人、介助者2名分)
- ・夢洲障害用駐車場 2,500円
- ・介護士介助料金(8時間) 33,000円
- ・諸経費 手数料 10,000円

ツアー料金 合計 160,500円

この他にも、ご本人のお身体の負担が可能なら地下鉄などの公共交通機関を使った支援も行っています。また、比較的安価に大阪関西万博に行けるように6月以降、各方面から週に1回、6名ほどの小グループ旅行も計画しています。皆さんも、大阪関西万博に参加しませんか?お気軽にご相談ください。



旅行事業Rehavel(リハベル)
TEL 072-931-2761
FAX 072-939-2960



有料老人ホーム 空室状況

(2025年4月現在)

青蓮荘	満	ケアホーム伊賀	△	ケアホーム長吉	△
コンフォート門真	△	ケアホーム藤井寺	満	ケアホーム加美	△
コンフォート大東	△	ケアホーム寝屋川	満	ケアホーム俊徳道	△

入居相談 0120-974-115 (平日9時~18時)
お問合せ窓口 ※空室情報は変動することがあります。

デイサービス 空き状況

(2025年4月現在)

リハビリプラザ桜ヶ丘	○	リハビリプラザ小山	○	リハビリプラザ深野	○
リハビリプラザ羽曳野	○	リハビリプラザ守口	○	リハビリプラザ東大阪	○
リハビリプラザ松原	○	リハビリプラザ高槻	○	リハビリプラザなでしこ	○

お問合せ 各デイサービスまでお問合せ下さい。 ※曜日によって空き状況は異なります。空室状況は変動することがありますので、詳しくはお問合せ下さい。



いざという時、大切な命を守るために

ハートケアグループでは地震や火災などの緊急事態に備えて、ご利用者を建物の外へ迅速に搬送するための『エアーストレッチャー(担架)』や『階段対応車いす』を導入しました。3月19日には、エアーストレッチャーを導入したケアホーム伊賀で取扱説明・講習会が行われ、営業所長、事業所長を含めた4名のスタッフが搬送方法を学びました。

講習会では、納入業者からエアーストレッチャーの簡単な説明があり、人に乗せるまでの搬送準備を実際に見せてもらった後、スタッフが2階から1階までの避難搬送を想定して練習を行いました。

少人数でも搬送を可能に!

導入したエアーストレッチャーは、担架のような運び方ではなく、スライドさせて搬送するものです。傷病者を少ない人数で搬送できることを目的に開発されました。スライドさせることで2、3名の少人数や女性でも搬送することができ、人手が少ない時にも避難対応の可能性が広がります。また、本体の底部の特殊ポ

リエチレン板とエアーマットが様々な衝撃を吸収してくれるので、搬送される人の身体への負担も少ないそうです。

簡単な搬送準備で避難時間も短縮!

緊急時は焦りますが、エアーストレッチャーに人に乗せるまでの搬送準備は手順がとても簡単です。(約3分で完了) エアーストレッチャーをキャリーバックから出して広げ、マット上部にあるエアバルブを回して開けるだけ。エアーマットは自吸式なので自動的に約60秒で空気が入ります。空気入れなどの特別な道具もいらないので落ち着いて準備ができそうです。



人を乗せて避難搬送に挑戦!

マットの準備ができるとスタッフはマットに横になり、カバーでしっかりと包み込む方法を学びました。カバーにある3ヶ所のベルトは、足側2ヶ所を特にしっかりと締めることで、中に寝ている人はより固定されて安定感があることや、ベルトの締め方など、早く安全に搬送するためのコツなども教わりました。



階段を下りる搬送練習では、階段で下になるスタッフは特に体重がかかり重くなるため、ロープを持ち替えるタイミングやコツなどもアドバイスして上下してストレッチャーの扱い方を練習しました。

搬送講習・訓練を終えて!

スタッフからは、「担架なら重くて搬送するのは難しいけれど、スライドさせるエアーストレッチャーなら重たくても階段を安全に下ろせると感じた」「業者の方から搬送のコツなどアドバイスももらったので、実際の搬送時にも役に立つと感じた」「平時から訓練しておくことで搬送もより迅速に行えると感じた」などの感想が聞かれました。搬送されたスタッフからは「背中など痛いかと思っただが段差の衝撃もあまりなく、むしろ振動がマッサージのローラーのような気持ち良かった」などの感想も。訓練で搬送される側の体験をすることも、避難時のご利用者の気持ちにも寄り添えるので大切であると感じました。



業者の方からは講習後にも丁寧な質問に答えていただき、子供や細くて小さい高齢者なら2人一緒に包んで搬送が可能であることや、訓練時にどれくらい体重の人なら2人で運べるか、3人必要かといった判断もとつさにできるようにしておくことが、緊急時に落ち着いてより迅速に避難搬送するためには大切であることがわかりました。この日講習を受けたスタッフは、営業所スタッフに順次伝達研修を行っていきます。新たに導入された避難用具をしっかりと使いこなして、ご利用者の大切な命を守るべく、今後も日々準備に努めていきます。



リハビリフロア2事業所では、車いすで生活されている方も多いとのことで、階段対応車いすを導入。営業所では階段対応訓練を行いました。



再び 力士がやってきた!

昨年引き続き、ハートケアグループの有料老人ホームに力士が来てくださいました。今年3月25日に、ケアホーム伊賀とケアホーム藤井寺に



武蔵海(おさしうみ)と天道山(てんどうざん)の2人が来訪しました。今回は、ケアホーム藤井寺の力士訪問の様子を取材しました。

ケアホーム藤井寺では、力士の訪問前から、会場の正面に「ようこそ藤島部屋」と書かれたホワイトボードが紙のお花で飾りつけられています。この飾りは、力士の訪問を知って、ご入居者が「何人ぐらいきてくれるのかな。私初めて会おうの、お相撲さんに。サインほしいな」と言いながら作られていたそうです。「Welcome」「藤島部屋」と書かれた手作り応援うちわを手に、いつでも歓迎準備は万端。「はよ会いたい」と待ちきれない様子の方もいました。



力士が入場すると「ようこそ～」の声とともに、うちわを振って大きな拍手でお出迎え。ご入居者からキラキラの首飾りをプレゼントしました。武蔵海関は愛媛県出身の43歳、天道山関は静岡県出身の23歳。質問コーナーでは様々な質問があがり、「小さい頃の夢は?」との質問には「野球選手」「お相撲さんになること」と対照的な答え。「体重は何



キロ?」「何歳の時に相撲部屋に入りましたか?」といった基本的な質問の他にも、「お寿司は最高何貫食べましたか?」というユニークな質問もありました。「ライバルは?」という質問には「部屋のみんな」との答えが返ってきて、真剣に相撲に取り組む姿勢が伝わってきました。

質問コーナーの後には、武蔵海関と天道山関が順番に握手をしてくださいました。皆さん嬉しそうに話しかけられ、握手した手を「もうこの手洗えないわ」とおっしゃったり、中にはずっと手を握ったまま、名残惜しくなかなか離そうとしない方もおられました。

そして次はいよいよ「お姫様抱っこ」のコーナーです。力士に軽々と持ち上げられ、照れくさそうにしながらも、歓声をあげて楽しそうな笑顔を見せてくださいました。

みんなで記念撮影した後には、お2人から最後の挨拶がありました。「これから5月場所に向けて精進します。またここに来れるようにがんばります。」と、相撲への意気込みを話してくださいました。

「一生の思い出ができた」とご入居者の満面の笑顔を見ることができ、とても嬉しく思います。力士と一緒に写った写真を部屋に飾りたいという方もおられ、皆様それぞれ力士の訪問が深く心に残ったようでした。

これからの武蔵海関、天道山関お2人の活躍を期待しています。

